

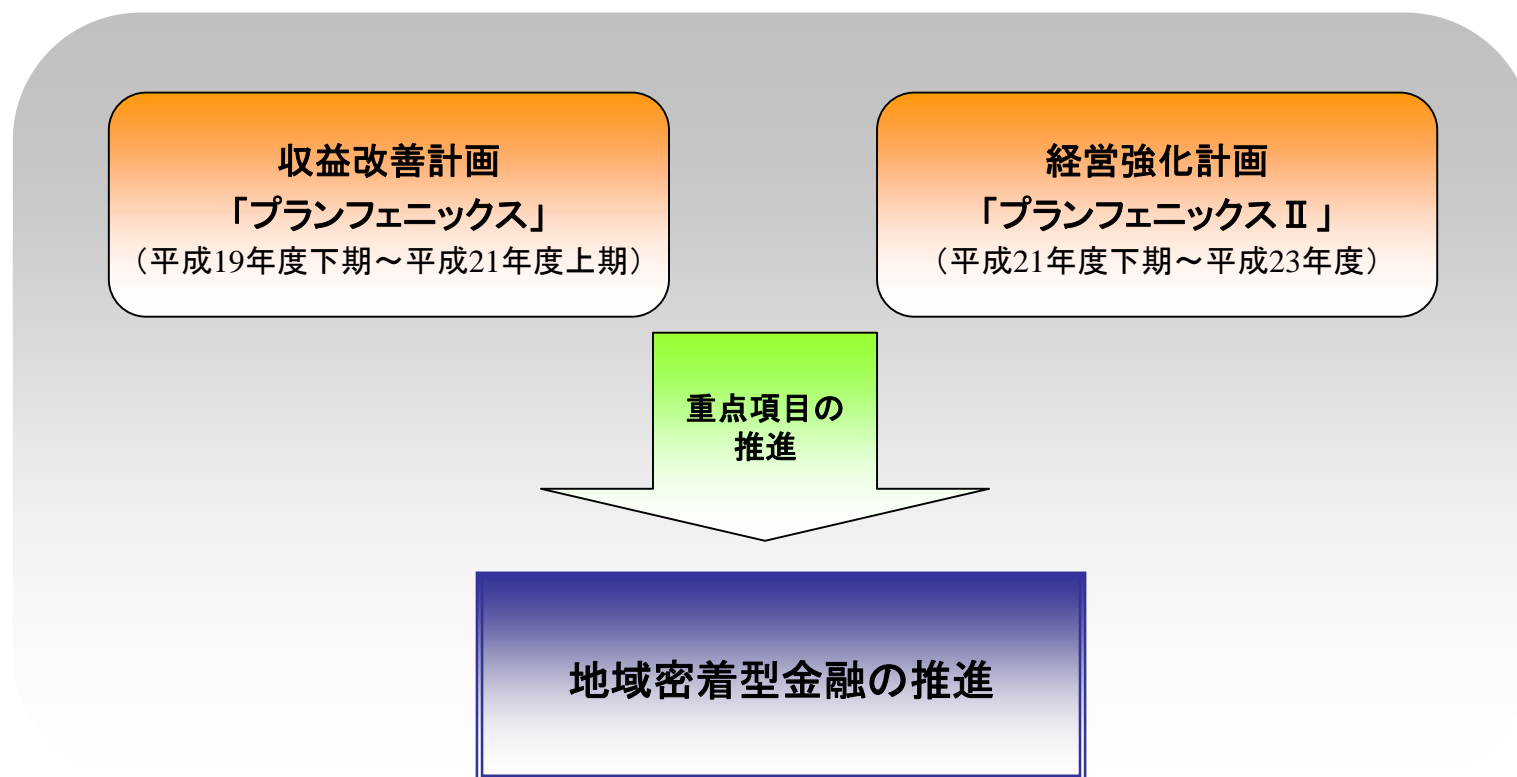
地域密着型金融の推進に関する取組みについて

平成22年6月

株式会社 東和銀行

I. 地域密着型金融推進計画の全体像	3
	4
II. 平成21年度までの「地域密着型金融推進計画」の取組み成果	5
III. 平成21年度の具体的な取組み事項と成果	6
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	7
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底	8
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	9
◇経営改善支援等の取組み実績	
IV. 地域密着型金融推進計画	10
	11
V. 重点取組み事項	12
1. 中小規模事業者等に対する信用供与の実施体制の整備	13
2. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	14
3. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底	15
4. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	
VI. 目標とする経営指標	
VII. 経営強化計画「プランフェニックスⅡ」の概要	

当行は、「中小・地域金融機関向けの総合的な監督指針」で求められている3つの具体的取組み「ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化」、「事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底」、「地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献」を実現していくため、「雨でも傘をさし続ける銀行」として、経営計画に掲げた基本方針に基づき中小規模事業者等に対する信用供与の円滑化に取り組んでまいります。



Ⅱ. 平成21年度までの「地域密着型金融推進計画」の取組み成果

当行は、平成19年度下期から平成21年度までを計画期間とする「プランフェニックス」に基づき、平成20年1月に「地域密着型金融推進計画」を策定して地域密着型金融の強化に取り組んでまいりました。

この推進計画につきましては、目標として掲げた経営指標9項目のうち8項目が目標を上回る実績となり、ほぼ計画を達成することができました。

なお、目標未達となりました「ビジネスマッチング成約件数」につきましては、今後も継続して取り組んでまいります。

目標とする経営指標と実績

項目	指標	目標 (平成22年3月)	実績 (平成22年3月)	目標比
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	(1) 創業・新事業支援融資実績	160件	192件	32件
	(2) ランクアップ率	$\frac{\text{ランクアップ件数}}{\text{経営改善支援取組み件数}}$ 10%	29%	19%
	(3) 再生計画策定率	$\frac{\text{再生計画策定先数}}{\text{経営改善支援取組み件数}}$ 25%	45%	20%
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の活用	(1) 私募債引受件数	10件	21件	11件
	(2) BIZ-クイック実行金額	100億円	119億円	19億円
	(3) ABL(動産・債権担保)スキームによる融資実行件数	10件	16件	6件
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	(1) 経営者セミナー他各種セミナーの開催回数	40回	75回	35回
	(2) ビジネスマッチング成約件数	80件	9件	△71件
	(3) 年金相談会開催回数	700回	839回	139回

※平成22年3月期の目標及び実績は、平成19年10月から平成22年3月までの累計数値です。

Ⅲ. 平成21年度の具体的な取組み事項と成果

「地域密着型金融推進計画」のなかで、重点項目として取組んだ施策についての平成21年度取組み成果は、以下のとおりです。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

重点項目	取組施策	取組成果(平成21年4月～平成22年3月)
(1) 創業・新事業支援機能等の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬大学との連携強化 ・創業・新事業支援向け融資制度の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年11月、群馬大学と連携してビジネス交流会を開催 ・創業・新事業支援融資実績60件 331百万円
(2) 経営改善支援機能等の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善計画の作成支援 ・中小企業再生支援協議会の活用 ・法務、財務、税務の専門家、専門コンサルタント等の取引先への紹介 ・企業支援室担当者による経営改善指導、行内研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善計画の作成支援 経営改善支援先31先 再生計画策定先7先 ランクアップ先4先
(3) 事業再生に向けた取組み強化	<ul style="list-style-type: none"> ・東和フェニックス株式会社を活用した企業再生支援 ・ハンズオン型事業再生手法を活用した再生計画の策定 ・中小企業再生支援協議会の積極的な活用 ・整理回収機構の企業再生支援スキームの活用 ・DES、DDS、DIPファイナンス、コベンナツ等の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業再生支援協議会の活用 3先 ・再生専門家を投入した事業再生の取組み 4先 ・DESの活用 1先 ・DIPファイナンスの活用 1先

Ⅲ. 平成21年度の具体的な取組み事項と成果

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

重点項目	取組施策	取組成果(平成21年4月～平成22年3月)
(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・無担保、第三者保証人不要の事業性ローンの活用 ・中小企業診断士育成のため、資格試験対策スクールへの派遣 ・行内・外部研修による「目利き」能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・BIZークイック 424件 48億円 ・融資判断基礎力強化研修の実施 参加者46名 ・法人渉外スキルアップ研修の実施 参加者57名 ・融資実践リーダー研修の実施 参加者35名
(2) 中小企業に適した資金供給手法の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・コベナンツを活用したシンジケートローン等の組成、推進 ・私募債引受け業務の推進 ・動産、債権担保融資の取組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・シンジケートローン 58件 26,668百万円 ・私募債 4件 460百万円 ・動産、債権担保 4件 318百万円
(3) 業務提携推進室の新設	<ul style="list-style-type: none"> ・先進行との業務提携の具体化に向けた取組み ・付加価値の高い幅広い金融商品・サービスの開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・付加価値の高い幅広い金融商品・サービスの開発 平成21年6月 東和リフォームローンeco+発売 平成22年1月 インターネットによる宝くじ付定期預金の申込受付開始 平成22年3月 インターネット支店の開設

Ⅲ. 平成21年度の具体的な取組み事項と成果

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

重点項目	取組施策	取組成果(平成21年4月～平成22年3月)
(1) 地域の面的再生への取組み	<ul style="list-style-type: none">・地方公共団体や商工団体との連携強化・ビジネスマッチング機能の強化 (東和ビジネス交流会の開催等)・コンサルティング業務の強化 (地域経済研究所による税務相談、法律相談等)	<ul style="list-style-type: none">・平成21年11月、群馬大学と連携してビジネス交流会を開催・地域経済研究所による税務相談 464件・地域経済研究所による法律相談 37件
(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供	<ul style="list-style-type: none">・経済レポート、税務トピックスの発刊・企業経営動向調査の実施・年金相談会の開催・講演会、各種セミナー、ビジネスレポートサービス等の情報提供やビジネス支援・利用者満足度アンケート調査の実施	<ul style="list-style-type: none">・経済レポート発刊 12回・税務トピックス発刊 2回・四半期毎に企業経営動向調査を実施・年金相談会開催件数 330回・各種セミナーの開催 42回

Ⅲ. 平成21年度の具体的な取組み事項と成果

◇経営改善支援等の取組み実績

【平成21年4月～平成22年3月】

(単位:先数)

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援取組み 先 α	αのうち			経営改善支援取組 み率 = α/A	ランクアップ率 = β/α	再生計画策定率 = δ/α
			αのうち期末に債務者 区分がランクアップし た先数 β	αのうち期末に債務者 区分が変化しなかった 先 γ	αのうち再生計画を策 定した先数 δ			
正常先 ①	6,719	1		0	0	0.0%		0.0%
うちその他要注意先 ②	4,728	8	0	6	0	0.2%	0.0%	0.0%
うち要管理先 ③	60	5	1	2	1	8.3%	20.0%	20.0%
破綻懸念先 ④	1,178	16	3	12	6	1.4%	18.8%	37.5%
実質破綻先 ⑤	208	1	0	1	0	0.5%	0.0%	0.0%
破綻先 ⑥	54	0	0	0	0			
小 計(②～⑥の計)	6,228	30	4	21	7	0.5%	13.3%	23.3%
合 計	12,947	31	4	21	7	0.2%	12.9%	22.6%

- ・期初債務者数及び債務者区分は21年4月当初時点。
- ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。
- ・βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しております。
なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含みません。
- ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含みます。
- ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って記載しています。
- ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含みません。
- ・γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。
- ・みなし正常先は正常先の債務者数に計上しています。
- ・「再生計画を策定した先数δ」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」

当行は、これまで培ってきた地域のお客様とのリレーションシップをさらに深めるとともに、中小企業等の事業者向け金融の円滑化により地域社会との共生を図ることが重要であるとの考えに基づき、平成21年12月、平成21年10月から平成24年3月までの2年半を強化期間とする経営強化計画「プランフェニックスⅡ」を策定いたしました。

この「プランフェニックスⅡ」に盛り込まれた地域密着型金融推進のための具体策を着実に実行するよう努め、地域との共存共栄を目指して地域密着型金融の高度化に取り組んでまいります。

<基本方針>

「雨でも傘をさし続ける銀行」として金融仲介機能を発揮し地域との共存共栄を目指す。

<取組み期間>

平成21年度下期～平成23年度

<重点取組み事項>

1. 中小規模事業者等に対する信用供与の実施体制の整備
2. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化
3. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
4. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

1. 中小規模事業者等に対する信用供与の実施体制の整備

- 支店のグループ化
 - ・ 支店のグループ化と支店への本部直轄の債権管理業務専門担当者の配置による支店サポート体制の構築
- 中小企業貸出推進委員会の強化
 - ・ 商品設計や支店サポートなどに関する諸施策の検討・立案による円滑な信用供与を行うための体制構築
- 法人渉外担当者等の重点配置
 - ・ 中小規模事業者等の資金需要の旺盛な地域への人員の重点配置
- 貸付条件変更への対応
 - ・ 中小規模事業者等の貸付条件変更のための体制整備
- 人材育成
 - ・ 行員の目利き審査能力向上への積極的な取組み

2. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

- **創業又は新事業開拓に対する支援強化の方策**
 - ・ 群馬大学との連携によるビジネス交流会実施
 - ・ 創業・新事業支援向け融資制度の活用
- **取引先企業に対する支援強化の方策(コンサルティング機能の発揮)**
 - ・ 経営改善支援先に対する実現可能性の高い抜本的な経営再建計画の策定支援及び計画の進捗状況・資金繰りの管理等業況改善に向けたサポートの実行
 - ・ 中小企業再生支援協議会の活用や専門コンサルタント等の取引先への紹介
 - ・ 営業店への本部直轄の企業支援専門担当者の配置による機動的な支援や踏込んだアプローチを実施できる体制の構築
 - ・ 経営シミュレーションシステムの構築による提案型経営改善計画の提供
 - ・ ビジネスマッチングに向けた取り組み強化
- **早期事業再生に資する方策**
 - ・ ハンズオン型事業再生手法の活用による再生計画の策定
 - ・ DES、DDS、DIPファイナンス等の活用による効率的でスピーディな再生への取り組み
- **事業承継に対する支援強化の方策**
 - ・ 行内研修の高度化による支援要員の育成
 - ・ 大手銀行やその他のM&A専門会社等との協働によるM&Aのマッチング先の発掘

3. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

- 中小規模事業者等向け貸出審査体制の強化
 - ・ 信用評価システム利用による審査時間を短縮した中小規模事業者等向け貸出審査体制の強化
 - ・ 新しいスコアリング商品の開発検討
- 企業改善支援の強化
 - ・ 各都県の再生支援協議会等を活用した経営改善支援取組みの継続・強化
 - ・ 行内顧客情報インフラのさらなる活用等、ビジネスマッチング情報等を提供する体制の強化
- 全国緊急保証制度等の信用保証協会保証付融資の活用
 - ・ 国による中小企業等活力向上対策として導入された信用保証協会の保証制度の取組みの継続・強化
- 無担保、第三者保証不要の事業性ローンの活用
 - ・ オリックス(株)との提携によるBIZクイックの取組みの継続・強化
 - ・ マーケティングやリスク管理能力に優れた専門家との提携の模索
- 農業信用基金協会保証の活用
 - ・ 農業信用基金協会保証の保証付融資の取組みの継続・強化
- 私募債引受け業務の推進
 - ・ 地元企業の資金調達方法の多様化ニーズへの取組みの継続・強化
- 動産、債権担保融資の取組み
 - ・ 他社との提携による東和機械担保ローンの取組みの継続・強化
- ABL保証(流動資産担保融資保証制度)の活用
 - ・ 流動資産担保融資保証制度の取組みの継続・強化

4. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

- 地域の面的再生への取組み
 - ・ ビジネスマッチング機能の強化(東和ビジネス交流会の開催等)
 - ・ コンサルティング業務の強化(地域経済研究所による税務相談、法律相談等)

- 地域活性化につながる多様なサービスの提供
 - ・ 「経済レポート」「税務トピックス」を通じた情報提供
 - ・ 当行営業区域内の取引先を対象に実施する企業経営動向調査の実施
 - ・ 社会保険労務士と一体となって開催する年金相談会の実施
 - ・ 講演会・各種セミナー・ビジネスレポートサービス等の情報提供やビジネス支援

VI. 目標とする経営指標

当行は、「プランフェニックスⅡ」に掲げた具体的な施策を着実に実行することによって、以下の諸目標の達成を図ってまいります。

(単位:件)

	23/3期 計画	24/3期 計画
創業・新事業開拓支援	30	30
経営相談	80	95
早期事業再生支援	20	20
事業承継支援	1	1
担保・保証に過度に依存しない融資促進	400	400
合計(経営改善支援等取組み数)	531	546
取引先	11,400	11,480
経営改善支援取組み率(%) (経営改善等支援取組み数/取組み先)	4.65	4.75

※ 「取引先」とは、企業及び消費者ローン・住宅ローンのみの先を除く個人事業者の融資残高のある先で、政府出資主要法人、特殊法人、地方公社、大企業が保有する各種債権又は動産・不動産の流動化スキームに係るSPC、及び当行の関連会社を含んでおります。

～地域から頼られる銀行を目指して～

(21年度下期、22年度、23年度・経営強化期間)

業務運営体制(チャネル)に関する戦略

1. 法人渉外業務の強化
支店の特徴ある役割付け、支店のグループ化
2. 本部機能の強化
支店サポート体制の強化
・中小企業貸出推進委員会の創設
3. 顧客ニーズに即した商品の提供
顧客ニーズに即した商品ラインナップの充実

預金、貸出、有価証券運用及び預かり資産
(バランスシート等)に関する戦略

1. 預金戦略
支店への明確な営業推進目標の設定
2. 貸出戦略
マーケット特性に応じた貸出戦略
3. 有価証券運用戦略
中長期的視点でのポートフォリオ戦略
4. 預かり資産戦略
預かり資産商品のラインナップの充実と販売体制の強化

効率化戦略

1. 人的資源の効率的活用
中長期的視点での人事制度の再構築
2. 効率的な営業経費の検討
物件費等の再考

責任ある経営体制の確立

1. 業務執行及び監査・監督体制の強化
・経済界からの人材登用による社外取締役1名増員の検討
・外部評価委員会の評価内容、対象拡大による経営監視機能強化の検討
2. リスク管理体制の強化
・各種リスク管理へのPDCAサイクル導入
・統合的リスク管理の強化
3. 法令等遵守体制の強化
・コンプライアンス実践計画へのPDCAサイクルの導入
・顧客保護等管理態勢の構築
・内部通報制度、法令遵守に関するアンケートの活用
・反社会的勢力への対応

・地域の中小企業
等への貸出増強
・収益力の強化